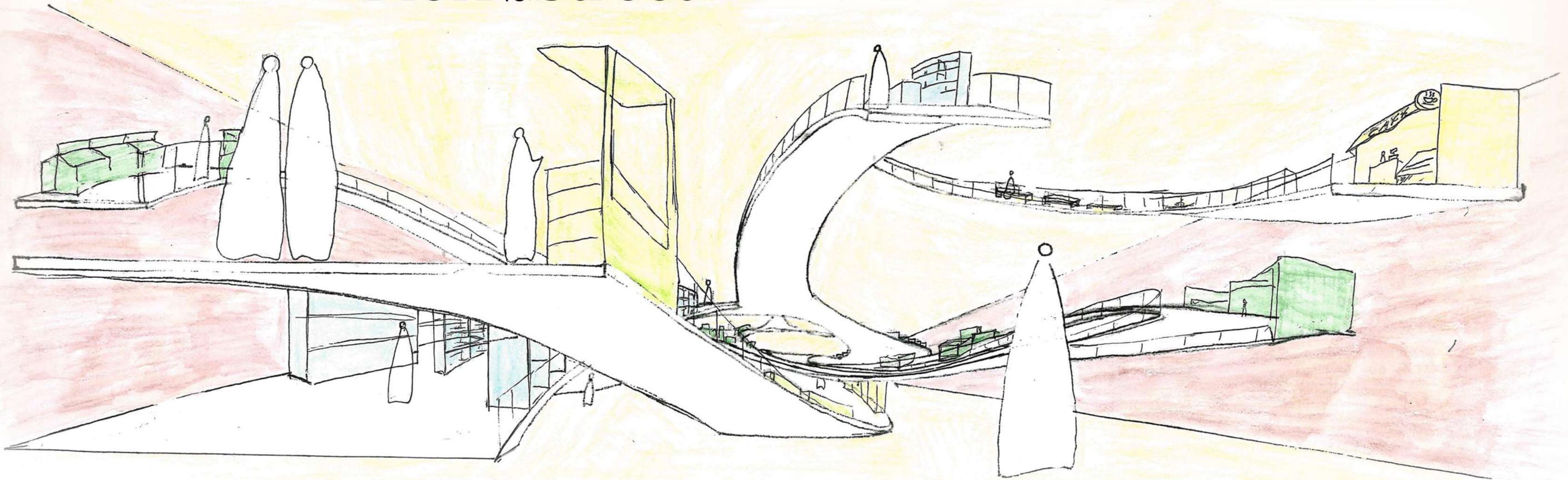


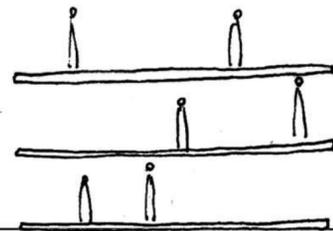
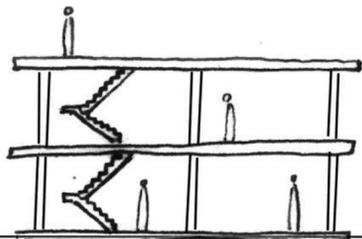
# 空中 交差点

～FlorrはStreetへ～



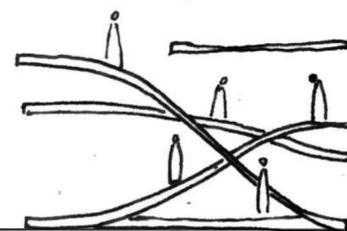
## 1. Back Ground

階段は地面から人々を解き放ち 効率的に空間をつなぐ優秀な機能である。  
しかしながら同時に階段は非自然的で画一的な一面も内包している。  
ル・コルビュジェの提唱したドミノシステムでは平面的な建築の開放が提示されたが、  
異なる場所性を持つ階同士を”つなぐ”ことは出来ても”むすぶ”ことは出来ないのでは無いだろうか。



## 2. Consept

階段によって束縛されたスラブを、  
高さ方向に開放することでフロアの持つ  
平面的な場所性は空間的な場所性へと変化し  
異なる場所性を持つフロアのGLは街の通りの様な  
役割を持ちそれらが交差する事で**建物内**に**街**が生まれる



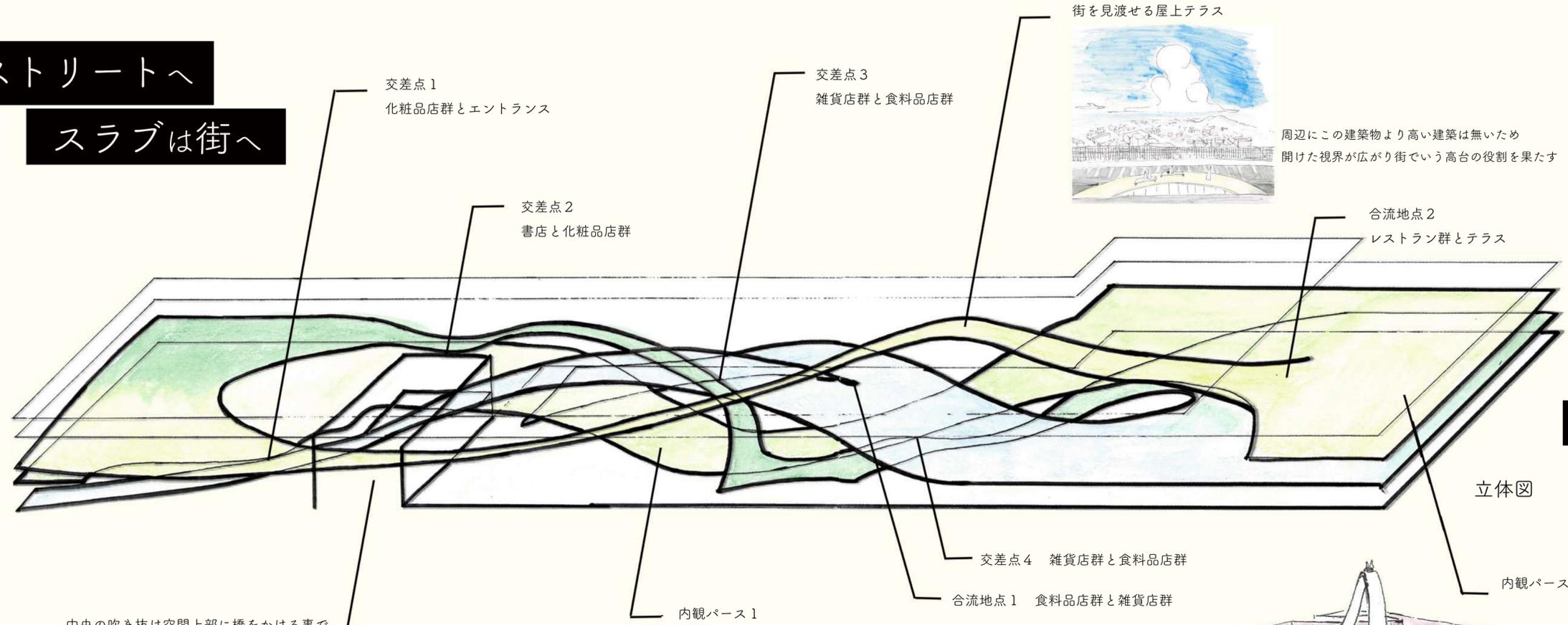
## 3. Location



日吉駅の駅ビルを改修する  
東側は自然豊かな慶應大学に面し  
西側には放射状の街並みが広がり  
様々な個性を持つ通りが交差している。

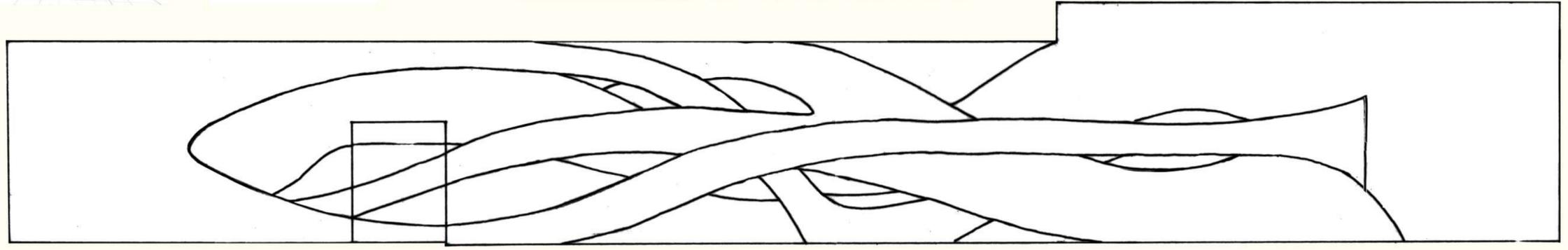
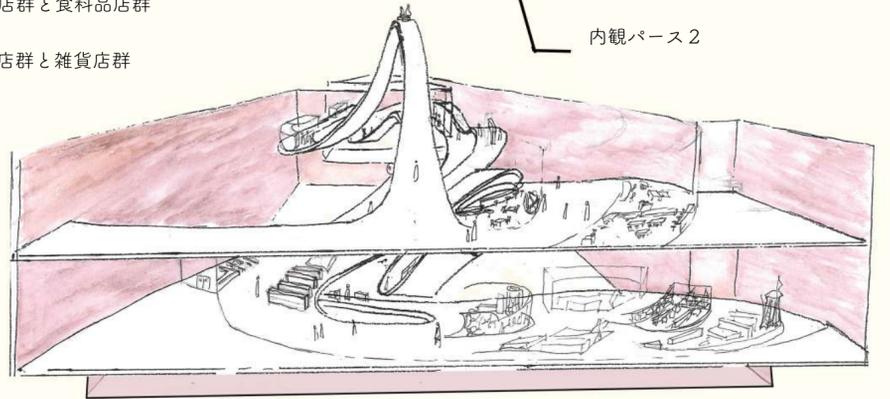
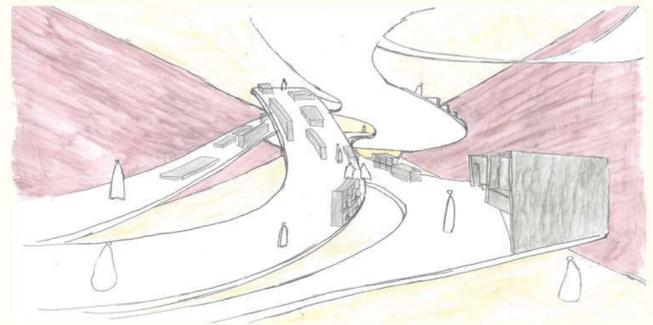
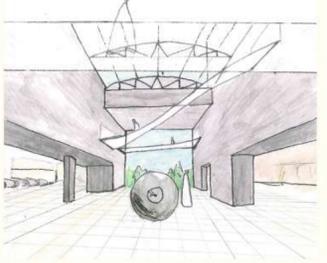
フロアはストリートへ

スラブは街へ

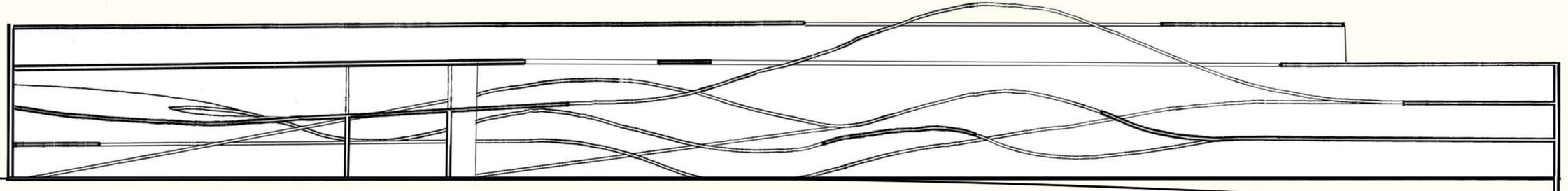


街のストリートに  
始まりと  
終わりを産まない様に  
回遊性を持たせる

中央の吹き抜け空間上部に橋をかける事で  
内部には視界の変化を、  
外部には自然と上を向かせるような効果を与える



見えがかり平面図 1:500



断面図 1:500

GL